夕刊 滿洲日報 一月二日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

寫眞なら 寫眞通信の荻野へ 三河町 電話6805

支那の思ふ壺に 兩税務司の職權爭
ヱ税務司の後に支那税務司任命 海關行政權を回收

【北平一日發電】總税務司代理エドワーズ氏の辭職は表面上海にある副總税務司マゼ氏との職權爭ひで今日迄にエドワーズ氏に對し正式總税務司の任命來らざりしため一機關內に

二人の 首腦者を必要とせずとの理由により今後絶對に復職せざる旨を聲明したものであるが、支那側ではもと〳〵兩氏の感情不和に乘じ其一方のたをれるをまち代理的に支那人總税務司を任命して八十年に亙る海關行政權の恢復を圖り、こゝに本質的に關税自主の意義をあきらかにせんとしたることあきらかである、英國公使ランプソン氏は過般南下の際早くもこの傾向あるを感知し兩氏間の調停をはかり海關既得權の確保に努力したが、感情的に背馳せる兩氏の

融和を 見るに至らず最近殊にマゼ氏はエドワーズ氏を無視し、すべての海關命令に單獨行動を取りあだかも地位轉倒の感を來すにいたれるため辭意を固めたもので、全く支那側の思ふ壺におちたものである

英皇帝御容體 御睡眠御困難

【ロンドン一日發電】三十一日正午前の公報によれば英皇帝陛下には昨夜は幾分睡眠困難なる一夜をすごされ、全般的御症狀においても既に認められて居る如く御疲勞してゐらせられるのでこの點が依然問題である、滋養攝取の點においても以前より幾分よくならせられ局部的御病狀はよろしい方に進んで居らせられる

運輸交通の利便增進に努む
國民の後援を希望す
鐵道大臣 小川平吉

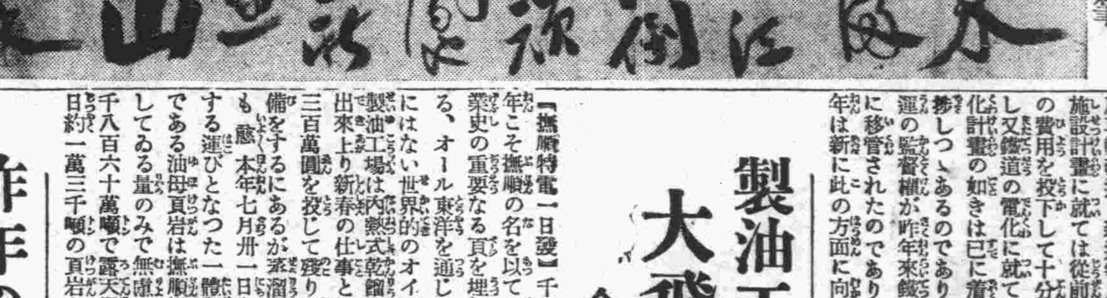
昭和四年の新年を迎へて國運の益々隆昌に赴くは洵に同慶に堪へないところであります、昨年十一月天皇陛下は曠世の盛典たる即位の大禮を京都に行はせられ給ひ益々

御壯健 に渡らせられて此の新年をお迎へになり皇室は彌が上にも御繁榮に渡らせられ給ふことは吾々國民として歡喜に堪へない次第であります、當時我國有鐵道は京都に行幸の儀を始め幾度か大禮の儀に奉仕し其の運轉沿道の警備等に就いては極めて優良なる成績を擧げたのであります、斯くの如きは一つに陛下の御威德の然らしむるところであるのは申すも畏きことではあるが我鐵道職員が平素の至誠奉公の精神を遺憾なく

發揮し 得たことも亦鐵道當局として私かに喜びとするところであります、新年と共に吾々は此の精神を以て益々奮勵して國家興隆のために奉公の誠を盡して運輸交通の利便を增進することに努むる覺悟であります、今年三月末迄は大禮を行はせられたる京都の紫宸殿、大嘗宮等の拜觀を差許されることになつて居るので新春早々多數の旅客が京都方面に向つて動きつゝあるので是は燃ゆるが如き皇室尊崇の精神の發現であつて我國有鐵道も此の拜觀者の輸送に就いては出來得る丈けの

便宜を 圖つて此の大多數の希望を滿足せしむるに遺憾なきを期したいと念つて居る次第であります、一般旅客貨物の輸送に就ては余は就任以來力めて其の圓滿なる進步を圖り、彼の特別小口扱貨物の如きも漸次世間に利用せられつゝあるは頗る欣快とするところであります、又鐵道の建設及改良に關しても近年は私設鐵道の延長、自動車輸送の發達に伴つて交通の利便が益々增進しつゝありますが人口に對する鐵道延長の割合を觀ても我國は遠く英、米等に及ばないのであつて將來能く鐵道を普及せしめ其の聯絡系統を整へて以て

產業の 振興と文運の發展を圖り國民をして遍ねく恩澤に浴せしめることが國有鐵道の使命の一つである、余は此の見地から新線の敷設に力を盡し、河川港灣の修築と相俟つて以て時勢の必要に應じ國民の要求を滿たしたいと考へるのであります、昨年は豫算不成立のため此の計畫を實現することが出來なかつたが今年は多數輿論の援助の下に右の趣旨を貫徹したいと思つて居るのであります是と相俟つて鐵道益金の許す範圍內に於て出來得る限り既設線路の改良を着々進めつゝあるのであります、余が一日も忘れ得ざるは輸送の安全、正確敏速及輸送力の增加と云ふ事であつて之がためには其の基礎ともなるべき線路の改良及車輛改造、新造等凡て實質的の施設計畫に就ては從前よりも多くの費用を投下して十分の施設を盡し又鐵道の電化に就ても中央線電化計畫の如きは已に着々順調に進捗しつゝあるのであります、猶陸運の監督權が昨年來鐵道へ移管されたのでありますから今年は新に此の方面に向つても準備計畫を整へて陸上交通の圓滿なる發達を期せしむる考へであります、新年と共に凡て以上の如き方針の下に國有鐵道の任務を十分に果さしめることに一層の努力を致したいのであるから一般公衆は我國有鐵道のために深甚なる同情と後援とを與へられむことを切に希望する次第であります


徳富蘇峰氏筆

製油工業界へ大飛躍する
今年は撫順の當り年

【撫順特電一日發】千九百二十九年こそ撫順の名を以て世界製油工業史の重要なる頁を埋むる年である、オール東洋を通じて撫順以外にはない世界的のオイルセールの製油工場は內熱式乾餾工場も既に出來上り新春の仕事としては經費三百萬圓を投じて殘り內部の諸設備をするにあるが蒸溜工場の設備も愈本年七月卅一日を以て完成する運びとなつた一體製油の原料である油母頁岩は撫順炭礦の埋藏してゐる量のみで無慮五十三億九千八百六十萬噸で露天掘と共に一日約一萬三千噸の頁岩をいやでも採掘せねばならぬが、今までその使道はないし捨場にも困つてゐたが此の製油工場の新設と共に厄介物の廢物が文化的燃料として海軍などではなくてはならぬ液體燃料が昭和四年を第一歩として年額七萬噸製產されるのだから凄い、而もその副產物として今流行の肥料として豆粕以上價値ある硫安が年額二萬噸又パラフインが一萬噸五千噸近くの製品まで製產される昭和四年それは撫順が製油工業界へ一大跳躍を試みる意義ある年である

昨年の油房工業極度の不況
操業せる工場僅に卅餘

大連油房聯合會の昨年一月より十一月迄の豆粕生產高は二千十九萬九千二百三十枚であつて昨年同期に比較すれば八百十六萬八千枚の生產減を來してゐる、而して昨年一月現在の聯合會員は七十八軒であつたが目下(十二月現在)は七十四軒に減少してゐる、是等は近年に於ける油房界極度の不況によつて

經營難に 陷り脫退したものであるが、中には單に商號や名儀の變更をなしたものもあり何れも油房界の窮境を語つて居る殊に七十四軒と言つても目下實際生產しつゝあるものは二十餘軒に過ぎない有樣であつて、全く青息吐息の狀態である、何れにしても油房界の不況は年を逐ふて益々深刻を極めつゝあるが今一昨年中と昨年中の各月別による生產高を對照すれば左の通り(單位枚)

月別	一昨年	昨年
一月	一、七五五、〇〇〇	四、〇三〇、〇〇〇
二月	三、三〇八、〇〇〇	三、〇八三、〇〇〇
三月	五、二四六、〇〇〇	三、七五三、〇〇〇
四月	五、〇五一、〇〇〇	三、九七三、六〇〇
五月	四、七三三、〇〇〇	三、八五五、九五〇
六月	三、二五二、七三〇	一、一六一、六〇〇
七月	四七六、〇〇〇	五二一、三〇〇
八月	八八七、五〇〇	五九、九〇〇
九月	三三五、五〇〇	一四四、〇〇〇
十月	六二四、〇〇〇	六九三、〇〇〇
十一月	一、〇四三、〇〇〇	一、一九八、〇〇〇

右の如く本年の生產高は昨年に比して各月を通じて減退を辿りつゝあり殊に

上半期に 於ては一千七百五十八萬二千百五十枚と昨年同期に比べて約三分の一の生產をなしてゐるに過ぎない、勿論昨年度に於ける特產物の出廻りは例年より遲れて五六月頃迄は、少量乍ら出廻りを見たが、油房としては依然として原料高による製品安で採算不合に陷り、漸く當座の契約物に對する生產のみをなし來つてゐる、殊に日本內地に於ける豆粕の需要は硫安等素肥料等に壓迫されて一面近年歐洲に於ける油房工業の發達によつて原料大豆の輸出增加し、滿洲豆粕の聲價失墜を如何ともする術がなかつた、只滿洲大豆の加工業については種々研究を行はれつゝあり、歐洲方面に對する飼料として粉粕の生產をなしつゝあるが、行詰つた油房の大局的改革は却々

一朝一夕 に出來得るものでない、只十月頃から今年度の特產物豐作を品質良好によつて採算を可能ならしめ、生產高は昨年より却て增加を呈してゐるが、十一月には三泰油房の聯合會脫退問題によつて油房界は更に危機を孕み、前途を悲觀されるに至つた聯合會は兎も角對策を講じつゝあるが油房界にとつて昨年は全く厄年と言ふべきであらう、尚昨年中の生產高につき區域別に示せば左の通り(單位百枚)

月別	埠頭方面	西崗子	沙河口
一月	一、五三四、〇	一七〇、〇	一〇四、〇
二月	二、四六七、〇	一六一、〇	二五五、〇
三月	二、八九五、〇	三五七、〇	三一一、〇
四月	二、九九八、六	六八三、〇	二九三、〇
五月	二、八七四、九	六九七、〇	三、八五五、九
六月	九八六、五	九六、一	一七九、〇
七月	四六一、八	一五、〇	四四、五
八月	五九、九	—	—
九月	一四四、〇	—	—
十月	六六九、八	二、〇	二六、〇
十一月	一、一四二、〇	—	五六、〇

はるびん丸遲れる

【はるびん丸無電】二日入港の豫定であつた哈爾賓丸は三日午前七時入港の筈

人事

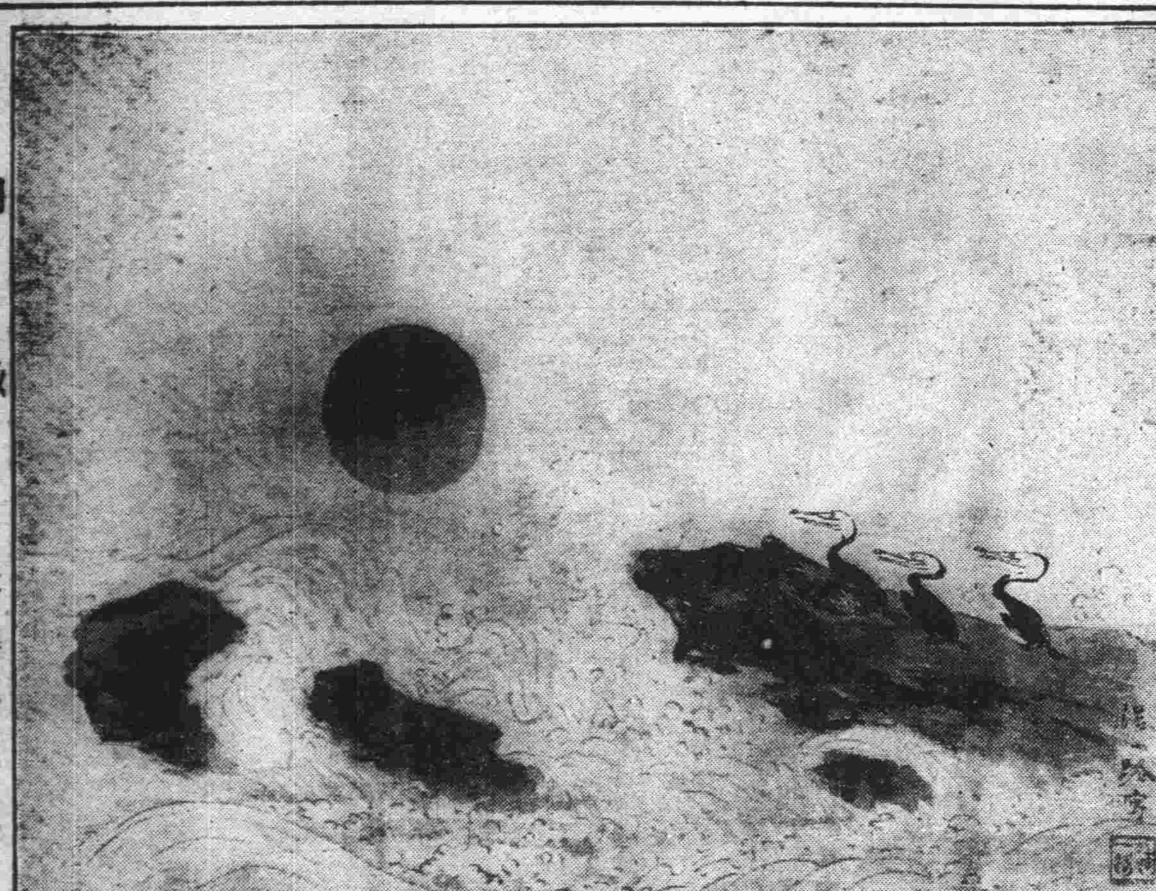
▲小谷節夫氏(代議士) 一日午後八時半着列車にて來連二日大連丸にて青島へ
▲兒玉右二氏(代議士) 一日午後八時半着列車にて來連、遼東ホテル投宿三日發歸京の筈

大觀小觀

筆硯を新にして見え、謹んで讀者の多祥を祈る。◇「今年こそは」といふ年頭の意氣込み、特に在滿邦人に於て永續したきもの。◇東北政團の新組織成る。但し肩書が變つただけのこと。◇青天白日旗も今のうちは珍し、明年は又何う變るか誰も判らず。

天氣豫報

三日(晴) 南西の風晴一時曇
日出七時一二分 日沒四時四三分
滿潮前二時三〇分 後三時一〇分
干潮前九時二分 後九時二〇分


朝暾 近藤浩一路

山本社長より新年の辭
滿鐵社員に對して

一日山本滿鐵社長より松岡副社長に宛左記新年の辭が電報によつて送られた
「何時も乍ら昨年は別して御世話になりました、厚く謝す、年內に行けず殘念、萬事宜しく頼む、御幸福の新年を祈る、社員一同に宜しく」
之に對して社員一同から折返し社長に左記の如く返電した
「御懇電を忝うし恐縮に不堪、尚本年も社長の御指導の下に誓つて社運の隆盛に貢獻せんことを期す」

鵬遊記 (第六信)
ロザンにて 大谷光瑞

【上】スウキス山水の美は宇內に冠たり。況んや霜葉の色を加ふるをや。二十六日の雨、二十七日に至り猶未だ霽れず。レマンの湖水は白模糊の裡に在り。蘇公の云ふ「山色空濛景亦奇」の句を憶ふ。落葉聲なく微雨の中に飄る。晚來夕陽雲脚の間より東山を射る。ロセドネの巍峯返照を受け、白雪微紅を帶ぶ。◇

二十八日朝霧山水を罩め午時に近く初めて散ず。アルプスの峻嶺白雪を戴き双峰の間に在り。レマンの湖水濃藍を拖き、開きて脚下にあり。白帆來往、閑鷗の如し。步して近郊に遊ぶ。秋色正に酣なり。ロザンは丘を背にし湖に臨めり。湖面は海拔三百七十五メートルにして、ロザン市は六百七十メートルより湖面に及べり。故に東西は街道平なれども南北は概ね坂路を免れず。停車場は市の中央にあり。別に索道を以てし、直に湖面と上方を連絡す。街區殷盛にして人口八九萬を算し、最近はゼネヴと相抗せり。此地は學校多く、特に法學と醫學とに名あり。本より遊人觀賞の地なりと雖も、亦スウキス主要の大市の一とす。一般に閑靜にして俗塵至らず。米人の來遊するもの少からずと雖も豪華を競ひ淳風を敗るの嫌ひなし。◇

此地は英人の住するもの極めて多し。概ね英國の惡氣候を避くるにあり。子女は特設せる學校に學ばしめ、英國に在ると同じくす。故に英語を用ふる校舍少からず。市民も多く英語を知る。◇

此地にガランドと稱する英人あり。四十年來英國名譽領事を職とす。知名の人士なり。家業は土地不動產の賣買と銀行業と一般旅人(主として英人)の便宜を計れり。我正金銀行、日本郵船も亦連絡をなせり。好箇の老紳士なり。一日同氏を訪ひ、此地に住居を得ん事を計る。同氏喜んで之を諾し、息男に命じ不肖と同行せしむ。息男も三十有餘の好紳士なり。自動車を驅り、郊外に遊ぶ。山を攀り、溪を渡り、紅錦繡の林中を行く。黄葉紅葉、翠杉青松と相間り、秋色の美遠く我邦の上に出づ。二十年前フンザの溪谷に紅葉を賞せしより以來此の景を見ず。東郊七キロメートルの所に勝地あり。之を買はん事を約す。地は南に向ひ斜にして轉じて西に開けり。立て東面せばローン河上流の峻峰は天に刺して攢り南面せばサヴオキのアルプスは峻嶺怒濤の青空を吞むが如し。西面は開けてジュラの遠山奔馬の奔るが如く、遙くゼネヴに至る。夕陽の沈まんとする所に青山の缺けるあり。此ローン河のレマン湖を導いて、西流フランス國境に入るの所なり。ゼネヴは正に此にあり。背して北面せば、紅樹青山一幅の畫圖の中に在り。俯瞰せばレマン湖は濃藍の水にアルプスの白雪を湛へ、ロザンの大市は背を背にし水に臨み、萬戶林間に雜れり、王摩詰の筆を以てするに非ざれば、此の勝景を畫がく能はず。蘇東坡の句によらざれば、此を歌ふ能はず。我性煙霞の痼疾あり。居をトするや、必ず形勝を選ぶ。ジャバの環翠、大觀、悠然の三莊は最も形勝を擅にす。然れどもロザン近郊の勝に比さば小兒の大人に對するが如し。

七十行小說 佳作
眞山氏の氣持
伊井武智

「まるで俱樂部の樣ですなあ」とも「いつも御迷惑でせうね」とも言つたが、人々は結句主人夫婦の人の善さをよい事にした。殆と每晩誰か知ら來ない事は無かつた。それが一人か二人の場合は花札か將棋か碁であるが、四人五人と顏が揃ふと極まつて麻雀だつた。
「われわれのグループにも名をつけないといかんね」
主人の眞山氏は或る時上機嫌でさう言つた。が、あけすけにそれに答へる者は無かつた。體のいゝ冗談を言ひ、敗ると躍起となり、やれ手が上つたとか仇を取つたとかまるで時間を忘れて夢中になりやがて柱時計を見上げると、それを自分の懷中時計に確めては何時も慌てた樣に立ち上つた。
「なに滿洲時間ぢやまだ宵の口だよ。まあゆつくりし給へ」
煙草を燻らし乍ら眞山氏は鷹揚に言ふのだつた。「今、茶を入れさすからそれまでもう一勝負」
客達の歸つた後眞山夫婦は直寢に就く習慣だつた。人々の去つた後の寂しさをより少く味ふ爲にかも知れない。實際子供といふものを持たぬ彼等は佗しかつたのだ。もう四十の歲も近いのに―そう思ふと、夫婦二人限で差し向つた時など、ふつと共通の空虛さを抱かずに居れなかつた。そんな事で努ひ寂しさを紛らす方法を考へる樣になつてゐたのである。
土曜日の晚だつたので、その夜は殊に客が多かつた。一方例の如く麻雀をしてゐる片方では二三の者が將棋をさした。その中の二人は、勿論何時か誰かに紹介されたのだが、眞山氏は名前さへ覺て居なかつた。かくてその晚皆が辭し去つたのは一時近くで、眞山夫婦は何時もの樣に直寢床に入つたと、物の十分も經たぬ時、突然ドン〳〵と戶を叩く音がした。
「どなた！」
眞山夫人は暫く躊躇の後起つて行つて戶を開けた。其處には今しがた歸つた久野が立つてゐた。
「實は車賃を拂ふと思つて氣が付くと財布が見當らないので。若しかしたらと思ひましてね」
「はあ。それは〳〵」
夫人は起き上つた眞山氏と共に部屋中を探し廻つた。然し、それらしいものすら見當らなかつた。
「へえ、そうですか。はてな」
が、兎も角見付からぬものを致方がなく曖昧な氣持で久野は歸つたが、夫婦の心は收まらなかつた――そうだ、家の銀製の置物も何時からか失はれた儘だが。あゝ誰をも疑ひ度くない。然し……
二人は何時までも眠れずに氣に病んだ。そして、自分達の寂しさを忘れるために、誰彼の差別なく引入れた事を後悔し始めた。やがて眞山氏の聲が呻く樣に聞えた。
「あーあ。いやなこつた。もう明日から誰も來て貰ふまい」

第十九期決算公告
(自昭和三年六月一日 至昭和三年十一月卅日)
貸借對照表

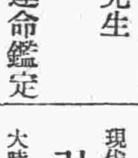
資產之部

科目	金額
未拂込資本金	七五〇、〇〇〇・〇〇
不動產	二〇〇、〇〇〇・〇〇
什器	五、九〇〇・五〇
受取手形	一三〇、八三五・二〇
得意先	七、九〇八・四五
假拂金	四、五六八・〇〇
未收金	四五〇・〇〇
保證金	七、二〇〇・〇〇
信託金	四、〇〇五・五〇
有價證券	二一、五五〇・〇〇
現金	二八・七七
合計	一、一二三、七〇六・四三

負債之部

科目	金額
資本金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	一、一〇〇・〇〇
別途積立金	一、〇〇〇・〇〇
支拂未濟配當金	二六六・五五
支拂手形	七七、二九〇・〇〇
銀行勘定	二八、六六四・八六
未拂金	一、九五七・〇三
假受金	一、五六二・二二
前期繰越	八四四・〇三
當期利益	一四一・七六
合計	一、一二三、七〇六・四三

右ノ通リニ候也
昭和三年十二月卅一日 日華特產株式會社
追而代表取締役及取締役全部任期滿了ニ付改選ノ結果代表取締役ニ千田次郎取締役ニ谷瓜長造、大庭仙三郎、小南夫一重任ス

觀相大家泰幹先生

人相骨相運命鑑定
一月二日より十一日迄 若狹町二二三番地 (向陽門下車)
滿洲觀相學會本部 電話七五七八番

賀正
舊年中は御引立を蒙り厚く御禮申上候
尚本年も不相變御引立の程奉願候
大連市浪速町三丁目二二六
和洋ボタン各種商 洋服附屬品
杉本ボタン店 電話八二六一番

謹告
昨日弊社敷島廣場變電所故障停電の爲め各位に對し一方ならぬ御迷惑を相掛け候段誠に恐縮に存じ奉候
右取敢ず紙上を以て御詫び申上候
昭和四年一月二日
南滿洲電氣株式會社

三越
謹賀新年
本年も御買物は三越に願ひ上げます
三日より平常通り開店致します
三越

清酒 澤龜
謹賀新年
舊臘中は厚き御愛顧を賜はり難有御禮申上候尚本年も不相變御引立之程偏に奉願上候
宅の店 大連市大山通
日本各地名產珍物 世界各國酒類食料品
電話代表 五一九九

浪速館
元旦より吉例特別大興行 ＝毎日晝夜三回開演＝
日活御大典記念作品 問題の渇仰篇
維新の京洛 互篇 全二十卷
お忘れ下さいますな晝夜三回興行
第一回午前十時 第二回午後二時 第三回夜間六時
元旦より封切
現代劇 高尾光子主演 をとめ心 全卷
現代喜劇 渡邊篤主演 引越夫婦 全卷
大時代劇 阪東妻三郎、森靜子、オールスターキャスト 開化異相 全十五卷 妻三郎大傑作明治篇まで

帝國館

帝國館
新春特別興行 第一回 十二月卅一日より一月四日まで
大河合映畫社 オールスターキャスト作品 監督曾根純三氏 艶美環歌子入社第一回主演映畫
火の車お萬 森野五郎 片岡長十郎 杉狂兒 松尾文人 琴糸路
河合特作現代劇 松本英一氏監督 里見明主演 若人の血は躍る青春ローマンス
青春散步
河合時代映畫特作 原作脚色 妹尾利久三 監督 丘虹二 捕物美談
神刀捕縛 主演 葉山純之助、琴糸路
◇河合プロダクション滿洲封切場

演藝館
元旦封切
◆全國一番の封切◆
マキノプロダクション最大級作品 壽々喜多呂九平原作 二川文太郎總監督
續蛇骨 マキノ智子更生第一回主演 共演 谷崎十郎・大林梅子・根岸東一郎
帝キネ超特級作品 實川延松主演 尾上紋十郎、高津愛子共演 渡邊新太郎監督
人喰蜘蛛
時代劇に好ましいスリルとナンセンスの映畫 根岸東一郎監督自演
親子鴉
今日入庫! 二川文太郎監督 目下演藝館上映中
骨肉 (黒巖の老姉妹篇)
―(地方配給)― オールスターキャスト
白龍は躍る
マキノ映畫 時代劇……旗本五人男 現代劇……哀しき生存 時代劇……掟 現代劇……夏の夜の唄
毒華
マキノ大連出張所

輝しい昭和四年の新春を壽ぐ大連市

カラリと晴れた元旦の賑ひ

街頭に廻禮の人影

御大典奉祝のよろこびのうちに暮れて輝かしい昭和四年の新春を迎へた大連市の元旦——カラリと晴れた空はいかにも新年らしく、すが〲しい氣を漂はせたが急に襲ふた寒氣は零下十三度、滿街ことごとく凍てついて吹く風は肌をついて寒かつたが、鷄鳴一番、曉を俟つて各神社に參拜する人、廻禮の人に市中の賑はひを見せた、午前十時頃になると、昨夜まで債鬼となつた人も債鬼に苦められた人も總てを忘れて屠蘇機嫌、新年を壽ぎつゝ、醉歩漫歩、戸毎に立てられた門松、はためく日の丸の旗が爽かな朝日を浴びて歳暮大賣出しのデコレイションの撤せられた街を扮飾してゐるも何んとなく昭和四年を壽ぐかのやうであつた、街頭で羽根つきに戲れる坊ちやん孃ちやん達の姿は寒さのため見られなかつたが、廻禮の人影は夕方まで引きもきらず、紋つき盛裝の人々が門松の影に消えてゆく情緒は輝かしい元旦に相應な和やかさであつた

君ケ代を合唱し萬歲を三唱

大連ヤマトホテルの市民名刺交換會

大連市の名刺交換會は一日午前十一時からヤマトホテル大ホールで盛大に開かれた、會するもの官民約一千名、ホテル玄關にて新年名刺交換會名簿が交附され、まづ小數賀市長代理の新年の挨拶に次ぎホテルオーケストラの伴奏裡に君が代の合唱が繰返され市長代理の發聲で天皇陛下萬歲、松岡滿鐵副社長の發聲で大連市萬歲を三唱し冷酒を酌んで昭和四年の新年を壽き散會したのは十一時四十分ごろであつた

大連神社の初詣で

昨年より尠い

元旦を襲ふた寒氣は各神社の初詣りの人の出足をにぶらせたが、それでも曉を俟つて大連神社に參拜する人は相當多かつた 神社では午前四時宮中に於て四方拜が執り行はれるころ社殿において歲旦祭が行はれた、そのころから初詣りする熱心な人もありそれから陽の出る頃にかけ參拜の人引きもきらず、社殿に額づき家運隆昌を祈る人、帝都を遙拜する人など神々しい氣が滿ち、大神代の榮はこゝから創まるといふ感を深からしめた 元旦のお賽錢は約一千圓、昨年に比べて五百圓の減少であるが、これは寒さの爲參詣人の出足を遮らせたによるが二日は稍暖かさに返り朝まだきから參拜人で大賑はひを見せた

宮中二日祭

【東京二日發電】二日午前六時半から一日祭に同じき御儀次第にて宮中賢所三殿においては二日祭の儀を行はせられた、殿の鋪設も前日と同じく神樂歌の中を洗米酒餅海魚海菜野菜、菓、作菓鹽水の十臺からなる神饌を供し奉り九條掌典長は嚴かに祝詞を奏し恒例により天皇陛下の御代拜を奉仕し同七時御祭儀を終了になつた、また宮中正殿に於て新年朝賀第二日の儀を行はせられた

寫眞說明【上圖】元旦の大連神社初詣【左下圖】大連ヤマトホテルの名刺交換會【下右圖】けふの初荷

滿鐵拜賀式

國家的使命を說いた

松岡副社長の挨拶

滿鐵本社の拜賀式は一日午前十時本社會議室に於て催された、集る社員約六百人まづ松岡副社長はこの佳き日を迎ふに當つて社運は隆々たるものである、滿洲は民族の共存共榮の地であると共に又民族の決戰場でもある この間に立つて滿鐵社員の使命は亦大なるものがある、昨年末社內に不穩な分子が策動して人心を險惡化せしめた事は甚だ遺憾事であつた、社は當然この人々に退社を求めたのである、本人には實際氣の毒であつたが、滿鐵の使命上から見て致し方がなかつた、今年はかゝることなく上下心を一にして社運の爲め將た國家的先驅者としての使命の爲めに堅實に努力せられんことを希望する、幸ひ日本最近の產業的進運は日本決して衰へず茲五百年間は上り坂を辿るものだと云つた希望を吾々に感得せしめてゐる、吾々は世界の第一線にある日本の先達として滿洲に於ても自信を以つて戰はれたい と述べ終るや木部庶務部長社員一同に代つて 日本は世界の第一位級に在ることを副社長から教はつたが吾々もそれを確く信じてゐる、吾々は自信力を以つて今年は努力してゆきたいと思ふ と答へ、天皇皇后兩陛下の萬歲を唱和して和氣をこめ乍ら式は終つた

滿洲館の年賀

滿鐵の松岡副社長外各重役は一日午前十一時より滿洲館に於て社員及び一般市民の年賀の挨拶を受けたが、當日は松岡氏を始め岡、藤根、田邊、小日山各理事、高柳將軍等が陸續として詰めかける社員及び市內一般の年賀客と酒を酌み乍ら新年を祝し合つた

主人を射殺し金品を强奪

大晦日に長春領事館前の華商にピストル强盜

【長春特電卅一日發】卅一日午後六時半頃長春朝日通り日本領事館前に居住する木材商李聚軒(五〇)方に三名の强盜押入りものをも言はず主人李を土間に引すへブローニング拳銃にて其の場に射殺し驚く家人を脅迫して指輪其他金品を奪つて逃走した

素晴らしい景氣の初荷

早朝から市中を勇しく練り廻る

昨年末から市中景氣は急に活氣づき、商品の賣れゆき花柳界の揚高は例年にない素晴らしさ、どうやら景氣も立直るらしいといふので各商店では力瘤を入れ、二日早朝から華々しい商店旗を立てた初荷の車が浪速町、伊勢町の商店街から勇ましく繰出され、新春の各街を景氣よく練り廻る地方に發送される初荷は第二埠頭に景氣よく運ばれたが今年の情況を發送係で聞いて見る

午前八時までに發送した數は約四十車籠頭はスタンダード石油の二十二車で送先は奉海線、四洮線が多く、次が麥粉、綿布、雜貨類等で昨年に比べてはるかに多い「こんな景氣は數年來ありません」と係員はてんてこ舞次に初荷の到着を見ると 內地及び沿線各地から十三車到着內譯は普通貨物五十五車、特別混保十三車、普通混保二十二車、專用線貨物十三車これも昨年に比べて素晴らしい景氣、夕方までには增倍するであらうと係員は新年早々大多忙である

一同元氣で熊岳城を出發

耐寒自動車踏破隊

【熊岳城特電二日發】日支自動車研究所主催本社後援の大連、奉天撫順間耐寒自動車踏破隊は元旦午前萬歲裡に大連神社前を出發一路奉天へ向け嚴寒風氷る滿洲野を疾走し同夜午後七時暗を縫ふて三臺の自動車は當地に到着した指揮者研究所長岡部種藏氏を始め通信の任を負ふ本社特派員加藤保敏氏以下の一行大元氣で自動車中より現はれ車體の手入等をなし同夜一泊、二日早朝見送る爆竹の音も勇ましく再び轡を連ねて北方へ向け猛進した

各地の新年

營口

【營口特電一日發】天氣快晴なれど酷寒一日午前十時より官民一同領事館に集合して拜賀式、正午より公會堂に於て互禮會あり尚營口神社は午前十一時廿分より歲旦祭擧行、又各小學校の拜賀式は午前十時卅分に行はれた

鐵嶺

【鐵嶺特電一日發】當地の元旦は近來にない寒さで朝零下二十度正午漸く零下三度午前九時半より歲旦祭拜賀式に引續き公會堂に互禮會あり日支官民四百名出席市中には正月氣分濃厚に平和な初春を迎えた

遼陽

【遼陽特電一日發】遼陽の元旦は天氣晴朗なるも氣溫は著しく下降零下二十度を示して居る、午前九時警察署、郵便局、步兵大隊、工兵大隊等の祝賀式を擧行、守備隊、衞戍病院の御眞影拜賀式行はれ、領事館では午前九時半から十時半迄武波擧長、田村書記生奉安室に侍立して御眞影拜賀が行はれ、師團司令部では午前十時から會議室に於て宮地師團長が部下の祝賀を受け十一時から偕行社に於て互禮會を催された、遼陽神社では午前九時四方拜の儀式があり、商業學校は午前九時から四方拜を行ひ諸學校は十時から御眞影拜賀式を行ふた、官民合同互禮會は正午公會堂に於て擧行約三百名の參會者あり一同着席するや見坊地方事務所長の開會の辭、君が代の合唱、宮地師團長の發聲で天皇、皇后兩陛下及び遼陽市の萬歲を唱へ宴會に移り午後零時四十分散會した市中には高足踊や龍頭舞支那奇術の樂隊が練り廻り門松國旗を立てゝ諸萬歲を壽ぎ奉つて居る

龍井

【龍井特電一日發】龍井の元日は零下三十數度の痛烈なる寒さであつた、間島小學校、間島中央校、龍井幼稚園の祝賀式は午前十一時より總領事館に於て御眞影拜賀式が行はれ正午より內鮮官民合同祝宴が公會堂で盛大に行はれた、支那側は各戸に靑天白日旗を揭揚し支那統一の慶祝旗行列が行はれかけたが支那商埠局は是を以て對日デモンストレーションの意味あるものとして阻止し高商埠局長は辭表を提出した、尚右旗行列は排日分子が示威を目的に企てたのである

昭和四年の運動界を迎へて

太郎冠者

紅、漲ぎる躍々たる曉の光は彩雲靉靆として金鷄翔せ遙か東空を靜かに破つて今昭和四年の初日は八紘に離き始める、瑞氣大八洲の津々浦々貧富貴賤の別なく渡り萬人齊しく聖壽の無窮を祈ぎ奉る、玲瓏として初光に仰ぎ見る碧峰富士溢れ漲る金蓮の華やかさを漂はす大海原、これこそ吾等若人達のアイデアルでありシンボルである、崇高なる理想の若洋々たる希望の海何人かこの新しき年を迎へて新しき心の躍動を覺えざる、日本のスポーツ界は陸に水に一躍世界的地歩を踏み入れた昭和三年の跡を受け今や新しき年を迎ふ、我等は飽く迄も躍進を期せねばならない、勇猛心を奮起せねばならない、なんとなれば現狀維持は退歩の第一歩であるから、歷日新しきが故に然らずとも心氣更新して躍進の意氣揚がる時、新年は初めて我等に大なる意氣を與へる靜かに昭和四年の運動界を思ひ浮べ併せて希望を述べて見よう

野球　□下野球愛好者の心をそゝるものは蓋し六大學リーグ戰であらう、唯明大チームが米國遠征の途に就くので春のリーグ戰は些か寂寞の感なきにしもあらず、だが中學より選び出されたるフレツシユマンの入學に依り六大學の陣形と强味が如何に變化すべきやは矢張りファンに大なる興味を以て迎へられるであらう、秋は明大の歸朝に依り必ずや波瀾續出するものと想像せられ、立教、法政兩チームも必ずや**惑星**としてファンの血をそゝるものと思はれる、我滿洲に於ける興味はやはり實滿戰であらう、前年の優勝チーム實業は高橋、中川、武居、津田を失ひたるに反し、滿倶は南條、氷室の歸連ありしかも慶應の某選手及び關西某野球チームの某選手二名及び某中堅名投手來連の評ありて層厚の意氣盛に燃ゆる、實業側もまた盛に文書を以て某早大選手に交渉する處ありと聞く、しかも實業の暗中飛躍は必ずや滿倶及びファンの意表に出でること〻思はれるから本年の**實滿戰**は昨年度の如きあつけなき試合に終るものとは想像されない、たゞ筆者が實滿戰について遺憾に思ふことは試合と試合との間に一週日を置くことである、現代リーグ戰その他を見るに第一回、第二回と試合日を續行して行ひつゝあり、然るに如何なることを理由とするか我實滿戰は日曜日毎と云ふ規定ありと聞く、思ふに投手の少きを以て休養日を與ふるものであらう、然し乍らそは眞實の**實力を**知るに甚だ難く時代逆行の感がある、是非とも本年度は土、日曜と續けて擧行されんことを滿日及び兩チーム主腦部に希望する、實滿戰に續くに我等の大なる希望を以て迎へるものは州內野球大會である、大汽、電氣國際の新興に伴ひ常勝軍の消費を破るもの必ずや以上三チームであらねばならない

水泳　昭和三年の光輝ある水泳界は入江の世界的記錄、鶴田の世界的躍進等々の跡を受け、より以上の躍進を覺悟せなければならない、滿洲に於ける水泳界の不振は一に學生達が眞面目に練習しないのによる、東洋一の大連水泳場も完備し旅順、奉天等にも之に劣らない、プールを有し、その上藤、小野田、宮畑等の名コーチを有すのである 願くば一番、日本的世界的選手の出現を希望して止まない

陸上競技　東京帝大のアメリカ遠征日獨對抗ゲーム等前年度に優るとも劣らざる多事多端の歲を迎ふ、滿洲に於ける斯界も一大王國を作り前年度よりより以上の好成績を殘すものと思はれる たゞ遺憾に思はれるのは投擲方面に於て內地のそれに比し甚だ見劣りすることである、また各地に體協なるものを有しその間の聯絡全くなきことであるこれら多くの體協はよろしく一丸となつて內地體協に對すべきものではなからうか

ラグビー　新興ラグビーの活躍は全く目覺ましい一月中に京に於けるラグビー試合は、ファンの視聽を完全に集め再起せる慶應軍に京大より覇權が移るかと非常なる期待を集めて居る、この間吾が滿洲軍の活躍は一地位を日本の斯界に築くものと思はれる、なほ本年度は宜しく京都の大學チームを招聘して滿洲人にラグビー戰を咀嚼させる樣當局者に希望する

スケート　二月三日より安東に於て全日本選手權が擧行されるが名實兼備の大會たらんことを希望して止まない、たゞ安東體協幹事の某氏が過般大會準備のため安東に出張した滿鐵高橋俊夫氏に對し暴言を吐いたと聞く、斯くの如き幹事とやらはよろしく排斥して協力一致滿洲に於ける最初の選手權大會を盛大ならしめよ、その他鄕道軍が大擧して東京遠征をなすとの風評あり而して本年は神宮競技開催の年である、多事多端な昭和四年の運動界を宜しく自重躍進を期せなければならない妄言多謝

成績良好な撫順の採炭

生憎貨車不足

【撫順特信】近來好天氣續きにて撫順露天掘の成績極めて順調にして一日の採炭量は約三萬噸の記錄を連日示してゐるが、大官屯驛から沿線各地へ向け輸送する貨物車は一日平均八百五十車位であつたが、近來滿鐵の貨車不足の爲か空車が廻つてこないので、石炭需要の最頂點にある昨今炭礦運輸課では頭痛鉢卷の體である

スキー選手入京

【東京二日發電】スポーツの宮秩父宮殿下の御おぼしめしと大倉男の斡旋で來朝したノールウエーのスキー選手ヘルセット中尉コルテルド、スメルスルード三氏は三十一日午前九時五十分東京驛着列車で入京した、一行は帝國ホテルに入り旅裝をといたが四日午後十時上野發札幌に向ふ豫定でその間正月氣分の東京を見物することゝなつて居る

南支觀光團

上海を見物

【上海特電三十一日發】大連汽船主催の上海觀光團百名は今日午後四時無事到着した一同元氣

田中首相歸京

【東京二日發電】去る二十九日より腰越別邸に靜養中であつた田中首相は、卅一日午後二時四十分新橋驛着列車で歸京し、直に宮中に參內歲末の辭を言上退下した

南船北馬

◇……大晦日からの寒さが元日に持越して昨日の平均氣溫は零下十二度最高零下六度四最低十三度九 昨年の元日は平均零下三度六最高零度六最低零下六度で今年はずつと寒い

◇……寒さで大連神社の初詣でが例年より人出が尠かつた、繁昌したのは自動車屋で一日中殆ど空車が無い程の景氣

◇……舊臘忘年會で素晴らしくはずんだ美濃町は元日らしく夜の十一時には一流どこがあいて新年宴會の景氣が危ぶまれる

◇……しかし一般に景氣は好調で興行界の成績もよく飾り物が飛ぶやうに賣れた

◇……けふは二日、商店の初賣り初荷、初湯等々、花柳界には二日清の風習がる

披馬を飾り立てたる初荷かな　子規

◇……撫順に二月一日から州外電話一の自働式電話が開通するので局では市民にパンフレツトを配布するやら活動寫眞で說明するやら使用法の宣傳に大童(撫順)

賀正

大連著名商店

舊年中は格別の御引立を蒙り厚く御禮申上ます年新まり今年も不相變御愛顧の程御願申上ます

大連市浪速町三丁目
柳本呉服店
電話五八五八番

昨年中は格別の御引立に預り厚く御禮申上候客臘類燒の厄に遭ひし弊店は御蔭樣にて直に復興仕り店裝を新にして內地三都市及歐米最新流行の小間物及化粧品を豐富に取揃へ御眷顧に酬ゆべく候間何卒倍舊の御愛顧願上候

大連市浪速町三丁目
今中洋行
電話五四〇九番

製品の優秀なると價格の低廉なるは弊店のモツトーであります

大連市浪速町伊勢町角
大塚製靴鞄店
電話三九三三番

大連市磐城町二十番地
浪花鮓
電話五六五六　四七七二番

◎簡易食堂は設備を充分に致しました

魚商
大連市信濃町市場三十三番地
西園商店
電話(代表番號)五一五五番
(住宅)西通り八十四番地
電話三六四〇番

舊年中は格別の御引立に預り難有御禮申上ます尚本年も不相變御眷顧御引立の程御願申上ます

毛布、毛糸、鞄、帽子直輸入

大連市浪速町三丁目
一ノ瀬商會
電話四四〇五番
七三二〇番
振替口座大連三八九

舊年中は格別の御引立に預り厚く御禮申上ます新たなる年を迎へますと共に猶一層歐米各國の化粧品類豐富に取揃へ御眷顧に酬ゆるべく期して居ますどうか此上とも御引立の程御願申上ます

化粧品直輸入商
大連市伊勢町二一番地
高新洋行
電話八二五九番

金剛呪門 (111)

山中峰太郎作　小田富彌畫

格鬪亂走

立ち竦んで憬へた隼、音もなく臺のそばへ飛ぶと、握りしめてる太い人骨を、脇に隱すや否や、仰むけに倒れて息をつめた。

途端に、板戸が開いて、スツと光がさした。

上から覗きこんだ髯面の大男、

「ウツーウ、、、、」

唸りながら板戸を廣く押し開けた。とそこへ、梯子を降ろした。

……來るか！

と、隼、息をつめたまゝ、かすかに眼をあけて見上る前へ

「ウツ！ウツーウツーウ、、」

と、凄く笑ふらしい唸き聲と共に、前向に降りてきた男、隼のそばへ歩み寄ると、俯むいて、息の有無しを見定めようとする……

刹那に、隼の右腕が下から躍つた。握りしめてる人骨で、大男の頬を發矢と撲ぐりつけると、飛起きた隼

「ウツ！」

とよろめいた相手の後へ、サツと身をかはすや一撃、更に男の顳へ打當てた。

ひるむ途端に、なほも一撃、と、躍りかゝる隼の前へ

「ウ、ツ！」

と、立ち直つた強力の男、ほの暗い光の中に、見る／＼獰猛な形相を現すと、兩手を出して掴みかゝる……

と、横の臺の上へ、ヒラリと飛上つた隼、掴みかゝる相手の顳へ

「エイツ！」

捕縄の手練、投つけた人骨が、まともに敵の鼻筋へ音をたてゝ飛んだ。

「ウツ！」

敵はひるんだ。一髪の隙に、屍骸の上を跳り越えた隼、サツと闇へ飛び降りた。

強力と獄擁の牢間に、躍りだしておいた人骨を、またも兩手に拾ひ上た隼、

「來いツ！」

叫ぶと共に、ハツシと敵の眉間に投つけた。

「ウツ！」

と、怒り猛つた大男、投げつけられた一本を腕で防ぐその隙に、

「エイツ！」

またも投げた太い人骨、ハツシと飛び過たず、眉間に響きをたてゝ、さしもの大男、のけぞりかへつた。それと見るより、

「奴！」

忽ち走りよつた隼、叫ぶや否や、脾腹の急所へ當身の刺突、拳も通れと突きあてた。

「ウ、ムツー」

兩手をあげて藻いた相手、右へ全身をよじるとそのまゝ、ドツと地響き打つて倒れた。

「あゝ……」

と、息づいた隼、身を翻へすと、後の梯子を、スル／＼と登つた。

外は夕暮である……

ほの暗い土間なので、見まはすと、いかにも貧しげな、入つてきた時と同じ荒ら家の中に、人影がない。

……今一人ゐた筈だが？

と、振り返つて梯子を引上げると、

……掴めておくか？

と、繩のありかを見まはした時

「眈り合ひや！」

「籠を取り卷いてるのやぜ」

「半鐘を打たんかいな、オイ」

ざわめく人の聲が、表の路を、バタ／＼と走つて行く……

ハツと氣を取り直した隼、眼の前に開いてる板戸を、横から兩手で押締めた。そこに、錠のかんぬきがある。

……ウム、これだツたのか！

と、それを素早く差込むと、起き上つた。

……奪られた十手は？

それを探す暇もなく、表へ走りだすと、村の人々が、叫びながら西へ／＼と走つて行く……

……何か獲物は？

と、隼、路端を見ながら、サツと走りだした。

飛鳥の如き隼に、すり抜けられて、

「何や？」

「あれ見、早い乞食やないか」

走りながら驚く村人の聲を後に早くも村端へ出た隼、夕暮の靄の中に、向ふを見ると、眼を見はつた。

映畫と演藝

空中映畫「つばさ」 三日晝夜協和會館で封切

久しい間ファンから期待されてゐたパラマウント社特作品空中映畫「つばさ」十三卷は愈三日午後一時及六時半から協和會館の三社聯映會に浪速館主催で一般公開に先立ち封切し浪速館にては正月第二週興行より上映することになつたが、同映畫の上映に際し映寫効果を考慮しプロペラーの發音機其他擴大レンズ等を準備して内地大映畫館同樣の映畫法により一層興味を増す筈である

映畫「つばさ」は既に映畫ファンには松之助の名前同樣に宣傳された作品であるが、同映畫は現在全盛を極めてゐる所謂空中映畫の先驅をなした名篇で、眞に「つばさ」の題名に背かぬ名篇で我が國にても陸海軍省航空局其他より推薦されたほど、空に對する映畫の驚くべき進展を示したもので原作者のジョーン、モン、クサングース氏は大戰當時米國飛行隊員として活躍した人で監督のウイリアム、ウエルマン氏も亦陸軍飛行隊出身者でこれ等の人々が飛行將校としての智識と經驗の全部を注いで廿臺のカメラを以て千六百萬弗の兵器を使用して製作されたものと言はれてゐる、主演者はお馴染のクララボウ嬢で助演者はチヤールス、ロジヤス氏リチヤード、アーレン氏等である

噂話

初春興行は一齊に相當な景氣を見せたが いさゝか寒さに祟られた模樣▲元旦の成績は浪速館の「維新の京洛」が斷然優勢を示し第二浪速館を加へると二千圓に上る收入で浪速館始まつて以來の好成績▲次いで帝國館演藝館が伯仲の收入と見られ一千圓内外の見當▲大劇の淺尾信治一座も調子よく一體に興行界は好轉を示してゐる▲演藝館が正月興行の宣傳に久し振りで大晦日に樂隊入りで町廻りをやつたが▲あの寒さで流石の猛者連中も慄へ上つて一升瓶で燗をつける始末▲ところでこの町廻りが又候宣傳戰の火蓋を切つて四館協定のない今、目覺ましい宣傳戰に入るのでないかと見られてゐる

御大典記念品 貴金屬製作には 浪速町一ノ十五 大村洋行へ 電話三七二八番

賀正

大連

石田嘉市

赤塚彌太郎

大連市浪速町 井上醫院 電話五二六〇番

大連市西通り 池田小兒科醫院 電話六三六五番

大連市紀伊町 今井小兒科醫院 電話六〇五〇番

大連市磐城町 田中屋呉服店 電話四八五三番

關東廳職員購買組合指定特約店 羅紗地直輸入 高級洋服謹製 秋山洋服店 大連市磐城町 電話八二一六番 振替（大連）四一一八番

大連市山縣通り 金華號 電話七九四六番

小崗子 華商公議會 正會長 龐睦堂 副會長 周子如 同 周子揚 電話四五八八番

山縣通 安全タクシー自動車 電話（八九六九番 三〇三六番）

各種蒸汽罐放熱器 暖房衛生裝置 設計工事請負建築材料 一般藥品醫療理科器械 直輸入賣込商 合資會社 島松商店 大連市監部通 電話六一四一番

大連市西通り 月星合資會社 電話四五七二番

大連市岩代町 夏木瀬印刷所 電話六三三七番

和洋食料品商 大連市磐城町三十一番地 外海洋行 電話四二二九・六九〇〇番

關東州辯護士

五十村貞浚 電話六八一八番　石山憲一 電話三三二八番　渡久山寛常 電話三七五五番　値賀連 電話四九一三番　大內戒美 電話七三六九番　小野實雄 電話六六四三番　岡野勇 電話三三四四番　河內山武雄 電話三六三七番　米岡規雄 電話五六九〇番　立川雲平 電話九二三五番　高橋猪兎喜 電話三九七九番　玉置榮吉 電話三〇九三番　竹田菅雄 電話六八〇〇番

中野琥逸 電話六八八〇番　松谷內三郎 電話八四五三番　古賀元吉 電話三九六三番　衞藤彌三 電話三三二八番　寺島由巡 電話六二六二番　寺島賴三 電話四九一三番　相川米太郎 電話五〇三七番　新野尾善九 電話六二三九番　齋藤鷲太郎 電話四七六五番　木原鐵之丞 電話六〇五一番　湯淺唯二 電話三五一二番　澁田俊介 電話五三六五番　關根道一郎 電話三七九四番　五泉賢三 電話五三七九番

醫學博士 大連市大山通り 森本醫院 電話五三七〇

大連市 昌光硝子株式會社 電話九一七四番

大連市設中央卸賣 市場卸賣人組合

土木建築請負 石川組 大連市惠比須町一九五 店主 石川安次郎 電話八七五〇番

西洋家具、室内裝飾、織物、敷物商 Xホック支那、朝鮮、臺灣總代理店 大連市敷島町三番地 品川洋行 電話六四五〇番 電略（シナ）又ハ（シ） 振替口座三九五〇番 工場 明治町七番地

大連市山縣通り 東亞貿易商會 鐘紙孝 電話八七五一番

家具裝飾品商 大連市愛宕町 成三商行 電話（長四二七五番 工場六四六七番）

大連市浪速町三丁目 （井） 井元商行 電話四七二一番

牛乳バター、クリーム販賣 大連市櫻町七十八番地 滿洲牧場 電話（六一三四番 三五四五番 七〇二七番）

藝術工業看板部 草地有丸 （電話三五九九番） 大連市若狭町百八十八

一、營業種目 醫工用藥品、酒精、金物、麻袋 株式會社 濱崎商店 大連市山縣通百三十五番地 電話（園五五一八番 七二七一一番 倉三〇二六一番）

富士見園 田淵荒一 大連市榊野町三五 電話九五四三番

大連市東郷町 東郷旅館 電話六七八七番

大連市山縣通八十八番地 株式會社 南昌洋行大連支店 電話長三七四四番 四九〇八番 電略受（タイレン、タナセ） 發（ナセ）又ハ（ナ）

大連市監部通り 庄村洋行 電話五二七九番

大連市西通り ラヂオ店 内藤商會 電話四二五七番

西檢番組合員一同

大連市三業組合員表（イロハ順）

料理店：濱之家　同 錦　同 布袋　同 鳥彥　同 千草　同 吉兼　同 淡月　同 鶴家　同 湖月　同 天金　同 澤之井　同 西園亭　同 喜扇　同 吟松亭　同 菊水　同 君之家　同 新喜樂　同 扇芳亭

電三六八六 監部通六八八　電四八三七 浪速町一二三　電八五〇九 浪速町一〇五　電四四八三 信濃町九三　電五〇二四 美濃町二三　電四五〇七 信濃町三七　電四六三六 浪速町一四　電七二三九 春日町二　電八一七七 美濃町一　電六一〇九 浪速町一七　電五五〇四 伊勢町二五二　電五一二九 西公園　電七九二九 磐城町五〇　電五〇〇三 浪速町一〇三　電五〇三三 愛宕町三八　電六四〇七 美濃町六五　電五三四六 美濃町五三　電七〇八二 浪速町一七

貸席：岩戸　同 花丸　同 初音　同 花菱　同 こんぼ　同 千歲　同 千代本　同 扇家　同 かなめ　同 芳家　同 月之美　同 津保家　同 福　同 江戸家　同 愛廣　同 蝶々　同 照之家　同 喜奴多　同 銀月　同 美登里　同 新菊水

電三四〇八 美濃町三五　電五二五四 信濃町八八　電四六七五 美濃町十九　電五四六二 磐城町一二　電五〇三三 浪速町二　電四二五六 浪速町一〇　電四三六八 伊勢町五二　電四二五一 磐城町六　電四三一五 磐城町二六　電四二七九 駿河町二八　電四三八七 伊勢町三六　電五〇七三 伊勢町二七　電五六二六 美濃町四七　電四八五七 磐城町一四　電四六六〇 大山通二八　電七〇九 浪速町一五　電四七五三 美濃町五八　電五二八 信濃町九四　電六九三九 美濃町五一　電七二一九 信濃町二五　電五八二〇 信濃町七六

同 新二葉　同 新瓢　同 新小松　同 新富　同 芝濱　同 瓢田　同 壽美禮　同 松家

電四九四一 信濃町八五　電五四〇一 磐城町二六　電三〇〇一 美濃町六九　電三二九〇 浪速町一〇　電六四三九 浪速町一九　電三〇九一 信濃町七一　電四四二五 浪速町一六　電五〇三九 美濃町三五　電四六六九 信濃町八〇

留屋：井筒家　同 いわさき席　同 林家　同 富家　同 常盤席　同 小川席　同 近江家　同 吉田席　同 淡月席　同 玉之家　同 高砂席　同 鷹之家　同 成田家　同 浪速家　同 八千久席　同 山口席　同 松坂席　同 藤村家　同 琴平席　同 哲之家　同 天狗席　同 相生席　同 笹邊席　同 櫻川席　同 北村席　同 北林席　同 清之家　同 北一席　同 紀廼國家　同 末廣席

電四二〇三 信濃町七五　電七三〇二 信濃町一〇八　電四六六九 信濃町八〇　電六七六〇 磐城町四六　電七六一一 大山通七三　電三六四二 美濃町三五　美濃町四三　電七六一七 磐城町三四　電四五八〇 浪速町一四　電五七七八 信濃町五九　電八一七七 美濃町七五　電八三九四 美濃町五七　美濃町五九　電八四八〇 浪速町一〇〇　電三四四一 美濃町六四　電三五〇四 岩代町四二　電八三五〇 磐城町二六　電三七八九 美濃町六五　電七六七九 浪速町一七　電六四八二 美濃町六九　電八九〇九 信濃町八三　電三八〇四 美濃町一九　電七二八六 岩代町三二　信濃町六四　電八七五一 美濃町六七　電八四九九 信濃町八八　電四二九 大山通七七　電二三七 信濃町七九　電八九五〇 大山通七三　電四二〇五 美濃町二三

大連市三業組合事務所 電話四五〇六番

大連檢番 專用電話 五一一九番 五二一六番 七二一一番

大連女紅場 電話三六九三番

賀正

滿洲里

領事 田中文一郎

川俣雄人

下村進

護路軍哈滿司令 滿海警備總司令 梁忠甲

滿洲里日本領事館 豐田俊治

領事館警察署長 警部 小谷定太郎

中村倉吉

國際觀光局 滿洲里分局

護路軍哈滿司令部 軍法官 田樹桂

雜貨商 池田商店 池田平八郎

池田平之助

稻田梅壽

藥種貿易商 旭昇號支店 藤井健吾

滿洲里驛通關業 加島甲子太郎

朝日樓

食道樂 金鳥

白石茂七

岩見福造

朝日洋行

貿易商 北浦洋行

福壽樓 見分與吉

德榮樓 鐵本與市

春日樓

上海・香港・大連・各驛馬
呼馬事覽
モルドハオウイツチ
兄弟商會

奉天

奉天警察署 總領事館警察署
乾武
立川俊三郎
三浦貞三
高田仁藏
片山和吉
澤田岩松
仲村延四郎
松井盛隆
福島清
菊池德三郎
伊藤角太
福直二

吉川組 (奉天松島町)
吉川康
碇山順亮
宇土正司
電話 組主及支配人用 一〇八 土木部用 一三八 建築部用 八七六

奉天滿鐵公所

奉天 今井主

小田要一

奉天浪速通三六 山葉洋行奉天支店 電話 六九八

奉天輸入組合 理事 玉林從純

奉天小西關 佐伯洋行 電話 一二七

奉天春日町八 佐藤廣濟堂

奉天松島町一(電話四一二) 大隈洋行 伊藤直藏

奉天橋立町 白龍園 電話 一四八六 (一日から五日間店員慰安の爲休業致します)

大連

滿洲煖房衛生同業組合 (イロハ順)

奉天千代田通二四	今井商會	電 六八二
大連市吉野町九一	橋本商會	電長 三四八八 四八九九
大連市山縣通一六	大倉商事株式會社大連出張所	電代表 八一六一
奉天高千町六	河村工務所	電 一三〇一
大連市淡路町二	勝本機械事務所	電 六九〇・三八九四
大連市若狹町一八〇	田中勝商會	電 三四二五
大連市山手町四	竹山商會	電 六五五三
奉天富士町九	近藤商會	電 四六二
大連市西公園町一九	齋藤製作所	電 三〇二四
大連市監部通二〇	島松商店	電代表 六一〇四
大連市西公園町五五	須賀商會	電 六七九九
大連市惠比須町九二	中島平治事務所	電 三〇八〇
安東縣四番通ノ三	須田商會	電 五八六

營業要目 内外蒸汽機械、煖房裝置、各種放熱器 病院用蒸汽裝置、蒸汽消毒裝置 蒸汽炊事裝置、衛生的裝置
輸入、製造販賣、設計並工事請負
株式會社 齋藤製作所 大連出張所
大連市西公園町百七十九番地 電話四三〇二四番

戸畑鑄物株式會社 東亞電機株式會社 安來製鋼所 製品販賣
戸畑鑄物株式會社 大連出張所
大連三河町拾七番地 電話六四三八番 電略受信(タイレントバタエイ) 發信(タトヌハタ)
本社 東京市麹町區八重洲町一丁目一番地

銘酒白鹿 ユニオンビール
大連市紀伊町二十二番地 合資會社 辰馬商會 電話 五三四三 六八八二 番

大連市監部通五十二番地
株式會社 萩原商店大連出張所
電話 四三 九九七 番 受信略語(タイレンハギハラ) 發信略語(ハ)又は(ハギ)

松竹キネマ株式會社
舊年中は多大の御贔負に相成有難奉謝候本年は猶一層努力仕り優秀映畵製作可致候間御期待被下度候

大連市山縣通一六八番地 鴻恩洋行 廣島製砥所大連出張所 電話七八七七番

大連市大山通五一 光明洋行紙店 電話七〇五九番

大連市大山通り 正美堂 電話二五七九番

大連市但馬町三四 深尾商店 尾舖健治郎 電話四二八二番

關東州酒造組合

滿洲綿花株式會社
本店 大連市沙河口下萩町
出張所 東京市日本橋區吳服町十番地 驛水港ビル四階

大連沙河口警察署長 長山猪重

沙河口神社々務所 河野讓

沙河口郵便局長 眞山明

沙河口驛長 宇野武治

萩野谷信順

沙河口大正通り 中田醫院 電話九〇〇八番 中田靜雄

沙河口黄金町二番地 小兒科 梅森醫院 電話九五一〇番 院長 梅森實

聖德街四丁目一一六 高橋醫院 電九二一三 高橋學

聖德街四丁目一一七 田邊醫院 電話九三七三 田邊敬吉

沙河口仲町八六 内科 小兒科 長濱醫院 電話九〇四五 長濱丹治

沙河口仲町一八番地 竹澤醫院 電話九〇五四 竹澤忠郎

沙河口大正通り 比企回生醫院 電話九五五九 比企哲夫

藥品賣藥度量衡器 小山平和堂 小山孝太郎 沙河口警察署前 電話九四〇五

沙河口仲町三六 東京生そば 東庵 電話九〇四七番

大連市沙河大正通七八 大阪毎日 滿洲日報 內地各種 岡榮新聞舖 電話九五三二番

沙河口市場組合 電話九三三九番

株式會社大連機械製作所 取締役兼支配人 森川莊吉 大連市臺山町一三

滿砂 電話九〇二五番

圖書雜誌 和洋各紙 内外文房具 運動用具 小松勉强堂 大連市沙河口仲町 電話九五二一番

沙河口藥業組合

大連市沙河口大正通六十四番地(電車道) 沙河口禮葬株式會社 電話九五二〇番

沙河口飲食店營業組合 電話九四〇五番

沙河口實業會 電話九五〇六番

大連市沙河口黄金町四三 一般倉庫業 森脇太郎 電話九二一一番

滿洲綿花株式會社 矢中快輔 電話九四八七番

合名會社 東萊洋行 小田斌 村井清 電話代表九五〇六番